

1 オール大阪での迅速かつ継続的な体制整備

(1) 大阪版「接種完了目標」の設定

- 高齢者への接種を3ヶ月間で完了し、接種を希望する府民についてはスタートから6ヶ月間で完了できることを目標に、各市町村のスケジュールを聞き取りフォローしていく。
- 接種方法については、地域の実情も踏まえつつ、診療所等での個別接種と集団接種（病院も可）をあわせて実施
- 個別接種の副反応時に対応できる仕組みを府医師会と調整の上、府で検討する

(2) 各市町村の取組状況の共有と公表

- 公表項目について今後調整

(3) 接種に必要な医療従事者の確保

- 各団体に協力を依頼（大阪府医師会、看護協会、薬剤師会など）

2 効率的なワクチン接種に向けた工夫

(4) 高齢者施設従事者への優先的接種

- クラスタ対策として、府内高齢者施設においては、高齢者と同じタイミングで従事者にも接種をめざすこととし、そのための方法を検討

(5) 住所地外での接種体制の整備

- 高齢者接種の状況を踏まえ、今後検討

(6) ワクチンのロスを抑える仕組み

- ワクチンのロスを抑えるとともに、キャンセルができた場合に、エッセンシャルワーカーなどが接種できる仕組みを検討

(7) 府有施設の提供

- 市町村からの要望に応じて、府有施設の一般利用を停止し、ワクチン接種会場としての提供を検討

(8) 効率的な実施方法の共有

- ワクチンの小分け配送やLINE予約システムなど、府先行接種方法や市町村の先進事例をワーキンググループなどで共有
- 訓練（シミュレーション）を実施し、各市町村に共有